

事務事業名		農業用水路等長寿命化・防災減災事業(ため池改修・廃止)		所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
総 計 画 体 系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	農林道G	課長名	細木 浩之
	施策名	〈34〉農業の振興		担当者名	江角 望	電話番号	0854-40-1053 (内線) 2403
	目的 対 象	市内の農家	意 図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。			
	基本事業名	〈097〉農業基盤の整備・保全		予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 3 0 0 2 項 目 中事業 中事業名 0 5 5 5 2 1 減災事業	土地改良事業 農業用水路等長寿命化・防災 減災事業	
目的 対 象	担い手農家をはじめとする農家	意 図	働きやすい環境で、農業の生産性が維持・向上する。				

1 現状把握〔DO〕

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H30 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	農業水利施設の機能を将来にわたって安定的に発揮させるための長寿命化対策や防災減災対策を実施するとともに、関連するソフト対策も行う。 ため池改修内容:ため池の堤体、洪水吐、取水施設等、老朽箇所の応急整備や堤防の切り下げ、ため池の廃止等
補助率:	ソフト事業 国100% ハード事業(緊急的な防災対策) 改修(国55%、県25%、市19%、地元1%) 廃止(国100%) H30年度より国庫補助要件を満たすため池改修・廃止について県単ため池安全確保事業から移行

(2) 事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動	R元年度実績(R元年度に行った主な活動) 現地確認、実施測量、工事施工	R2年度計画(R2年度に計画する主な活動) 現地確認、実施測量、工事施工			
	② 活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
ア	現地確認、測量、工事	箇所		2	6	6
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)	
	防災重点ため池の内、修繕及び廃止の要望のあるため池。	ア	改修要望箇所	箇所		10	29	29
		イ	廃止要望箇所	箇所		0	40	40
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)		
ため池修繕や廃止を行うことにより、ため池下流域での安心安全が確保され、効率的に耕作ができる。	ア	要望箇所に対する改修実施率	%		40.0	20.7	34.5	
	イ	要望箇所に対する廃止実施率	%		0.0	0.0	2.5	
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)	
測量設計3箇所、改修工事2箇所、補償2件 【繰越】 工事費 7,103千円(奥会下) 【現年】 委託費 5,293千円(芦谷、名子田、中の谷) 工事費 9,466千円(桜が廻) 補償費 333千円(桜が廻、芦谷) 計 15,092千円 合計 22,195千円 ※地方債:合併特例債	財源内訳 国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計(A) 千円 正規職員従事人数 人 延べ業務時間 時間 人件費計(B) 千円 トータルコスト(A)+(B) 千円	千円		5,470 1,200 24 152 6,846 1 100 433 7,279		20,498 1,200 116 381 22,195 1 100 424 22,619	41,176 3,600 190 608 45,574

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
H30年の豪雨災害により、ため池が決壊し、人的被害が出たこと等を受け、農業用水路等の緊急的な防災対策、長寿命化を図るためH30年度に新規創設された国庫補助金事業である。	特になし。	近年ため池管理者の高齢化により、適切な維持管理が行われることが少なくなったこともあり、ため池の老朽化が進行し、災害発生の危険性が高まっている。

事務事業名	農業用水路等長寿命化・防災減災事業(ため池改修・廃止)	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
-------	-----------------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	国制度の基準に基づく計画及び改修をしており向上の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	受益者やため池所有者が全てを負担しての改修になり負担が重くなる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		県補助金制度では対応できない危険ため池の改修事業はこれのみである。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		受益者負担があることから、負担可能な範囲での事業費決定としている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		地元調整や現場管理を考慮すれば削減の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		現地を確認したうえでの緊急性を考慮している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		適正な予算執行に努めた。
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
今後も同様に適正な執行に努める。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		